

2008年8月6日

2009年(平成21年)3月期 第1四半期決算説明資料

東レ株式会社

I. 2009年3月期

第1四半期決算概要(連結)

- ・連結業績の概要(収益) (P3)
- ・営業外収支 (P4)
- ・特別損益 (P5)
- ・連結業績の概要(財政状態) (P6)
- ・設備投資額・減価償却費 (P7)
- ・事業セグメント別業績 (P8-14)
- ・営業利益増減要因分析 (P15)

II. 2009年3月期業績見通し(連結)

- ・連結業績見通し (P17)
- ・事業セグメント別業績見通し (P18)
- ・事業セグメント別営業利益の
期初見通しとの差異 (P19)

I . 2009年3月期第1四半期 決算概要(連結)

連結業績の概要(収益)

TORAY

Innovation by Chemistry

単位: 億円

	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減
売上高	3,858	3,874	+16 (+0.4%)
売上原価	3,081	3,149	+69 (+2.2%)
売上総利益	777	725	-53 (-6.8%)
(売上高総利益率)	20.1%	18.7%	-1.4 ポイント
販売費及び一般管理費	582	592	+10 (+1.8%)
(売上高販管費比率)	15.1%	15.3%	+0.2 ポイント
営業利益	195	132	-63 (-32.3%)
(売上高営業利益率)	5.1%	3.4%	-1.6 ポイント
営業外収支	▲ 8	▲ 8	-0
経常利益	188	125	-63 (-33.6%)
特別損益	5	▲ 32	-37
税前利益	193	93	-100 (-51.8%)
四半期純利益	102	44	-58 (-56.9%)

為替レート

<円/US\$>

(08/3 1Q) → (09/3 1Q)

期中平均 : 120.8 → 104.6

期末 : 123.3 → 106.4

<円/ユーロ>

(08/3 1Q) → (09/3 1Q)

期中平均 : 162.7 → 163.4

期末 : 165.6 → 168.1

原油価格

<US\$/バレル> (DUBAI FOB)

(08/3 1Q) → (09/3 1Q)

期中平均 : 64.8 → 116.8

(注)3月期決算会社は4~6月の業績、12月期決算会社は1~3月の業績を連結

営業外収支

億円

	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減	特記事項
営業外収益	41	46	+5	
受取利息及び配当金	14	15	+1	
持分法による投資利益	11	17	+5	
雑収益	15	14	-1	
営業外費用	▲ 48	▲ 54	-5	
支払利息	▲ 26	▲ 26	-0	
雑損失	▲ 22	▲ 27	-5	
営業外収支	▲ 8	▲ 8	-0	
金融収支	▲ 12	▲ 11	+1	
雑収支	▲ 7	▲ 13	-6	

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益

億円

	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減	特記事項
特別利益	18	21	+3	
有形固定資産売却益	1	4	+4	
投資有価証券売却益	18	17	-1	保有意義の薄れた株式の売却益
その他	0	0	+0	
特別損失	▲ 13	▲ 53	-39	
有形固定資産処分損	▲ 8	▲ 9	-1	
投資有価証券評価損	-	▲ 0	-0	
関係会社事業損失	-	▲ 28	-28	子会社の統合に伴う損失
たな卸資産評価損	-	▲ 12	-12	会計基準の変更に伴うもの
その他	▲ 5	▲ 4	+2	
ネット特別損益	5	▲ 32	-37	

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

連結業績の概要(財政状態)

億円

	08年3月末	08年6月末	増減	特記事項
資産合計	16,982	16,653	-329	
流動資産	7,332	7,184	-148	受取手形及び売掛金の減少等
有形固定資産	6,810	6,547	-263	設備投資の減少等
無形固定資産	149	113	-36	
投資その他	2,692	2,810	+118	

	08年3月末	08年6月末	増減	特記事項
負債合計	10,561	10,511	-49	
流動負債	5,449	5,384	-65	
固定負債	5,111	5,127	+16	
純資産合計	6,422	6,142	-279	
有利子負債残高*1	5,912	6,228	+317	
D/Eレシオ*2	1.00	1.10	+0.10	

*1 08年6月末はリース債務を含む

*2 有利子負債残高／自己資本(＝純資産－少数株主持分)

設備投資額・減価償却費

億円

	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減	特記事項
設備投資額	280	158	-122	東レ:29、国内:14、海外:115
減価償却費 ー)	205	201	-4	東レ:94、国内:28、海外:80
振替・除却等	53	▲ 219	-272	
有形固定資産増減	128	▲ 263		

主な設備投資：
＜炭素繊維複合材料＞ SOFICAR(フランス) :炭素繊維設備
CFA(アメリカ) :炭素繊維設備

事業セグメント別業績(売上高／営業利益)

Innovation by Chemistry

単位: 億円

	売上高			営業利益		
	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減
繊維	1,540	1,450	-90 (-5.9%)	39	31	-8 (-20.5%)
プラスチック・ケミカル	981	1,068	+87 (+8.9%)	42	35	-6 (-15.0%)
情報通信材料・機器	664	623	-41 (-6.1%)	61	36	-26 (-41.9%)
炭素繊維複合材料	193	197	+4 (+2.0%)	38	33	-4 (-11.8%)
環境・エンジニアリング	329	386	+57 (+17.5%)	11	▲7	-18 (-)
ライフサイエンスその他	152	150	-2 (-1.2%)	9	1	-7 (-85.5%)
(内医薬・医療材)	103	104	+2 (+1.7%)	1	▲6	-8 (-)
計	3,858	3,874	+16 (+0.4%)	200	130	-70 (-35.1%)
消去又は全社				▲4	3	+7
連結	3,858	3,874	+16 (+0.4%)	195	132	-63 (-32.3%)

事業セグメント別業績(繊維)

Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減	
東レ	302	283	-19 (-6.4%)	13	2	-11 (-87.6%)	急速に進む原燃料価格上昇によるコストアップを価格転嫁や高付加価値品へのシフトではカバーし切れず、また、価格転嫁を進めるために数量を調整している側面もあり、減収減益。
国内	734	681	-53 (-7.2%)	22	21	-1 (-5.1%)	商事子会社の大手SPA向けアパレル製品は堅調に推移したが、不採算事業の見直しを進めたこと等により減収、円高による輸出採算悪化等もあり、若干の減益。
海外	503	485	-18 (-3.6%)	8	9	+1 (+12.3%)	マレーシア、タイのポリエステル・綿混織物や英国の長繊維織物の販売量が落ち込み減収も、原燃料価格高騰の影響はあったものの、欧州の人工皮革事業やタイのエアバッグ用繊維・織物事業などが好調に推移したこと等により若干の増益。
修正				▲ 3	▲ 0	+3	
計	1,540	1,450	-90 (-5.9%)	39	31	-8 (-20.5%)	

<主要関係会社>

国内： 東レインターナショナル、一村産業、蝶理 他

アジア： PENFABRIC(マレーシア)、LUCKYTEX(タイ)、ITS(インドネシア)、TFNL(中国) 他

欧米： ALCANTARA(イタリア) 他

事業セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)



Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減	
東レ	228	231	+3 (+1.3%)	8	▲ 4	-12 (-)	樹脂事業では自動車用途が好調に推移し、フィルム事業も太陽電池用途やハイブリッドカー向けコンデンサー用途で売上を拡大し、増収。一方、原燃料価格高騰やABS樹脂設備の定期修繕の影響によるコストアップ等により、減益。
国内	338	400	+61 (+18.2%)	24	29	+5 (+21.3%)	商事子会社が順調に取扱高を拡大したほか、ファインケミカル子会社も堅調に推移し、増収増益。
海外	416	437	+22 (+5.2%)	10	7	-2 (-24.7%)	マレーシアの樹脂子会社でABS樹脂の増設設備が稼働を開始したことに加え、韓国のフィルム子会社が拡販を進め増収も、欧米・アジアの各子会社とも原燃料価格高騰の影響を受け、減益。
修正				1	4	+3	
計	981	1,068	+87 (+8.9%)	42	35	-6 (-15.0%)	

<主要関係会社>

国内： 東レフィルム加工、東レ・ファインケミカル、曾田香料、蝶理 他

海外： TPA(アメリカ)、TPM(マレーシア)、TPEu(フランス)、TSI(韓国) 他

事業セグメント別業績(情報通信材料・機器) 'TORAY'

Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減	
東レ	288	298	+10 (+3.3%)	37	21	-15 (-41.7%)	フラットパネルディスプレイ用PETフィルム、液晶カラーフィルターが売上を伸ばしたこと等により、増収。一方、回路材料や印写材料が低迷したことに加え、一部フィルム設備の定期修繕の影響によるコストアップ等により減益。
国内	191	153	-38 (-19.7%)	20	7	-13 (-63.2%)	IT関連機器子会社の液晶製造装置の売上減少を主因に減収減益。
海外	185	172	-13 (-6.9%)	3	6	+2 (+78.0%)	韓国のフィルム子会社が磁気材料の売上を減少させたこと等により減収。一方、同じく韓国の回路材料子会社が堅調に売上を伸ばしたことを主因に増益。
修正				1	1	-0	
計	664	623	-41 (-6.1%)	61	36	-26 (-41.9%)	

<主要関係会社>

国内：東レエンジニアリング、東レフィルム加工 他

海外：TPA(アメリカ)、TPEu(フランス)、TSI(韓国)、STEMCO(韓国) 他

事業セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減	
東レ	161	123	-37 (-23.2%)	19	9	-10 (-51.8%)	航空宇宙用途、スポーツ用途の自転車向け、産業用途では欧州向け高機能炭素繊維の輸出が好調に推移したが、前年同期にあった機械輸出が無くなったことや前年同期に一部の産業用途の出荷案件が集中したことに加え円高の影響や四川大地震の影響でノートPC向け筐体の出荷調整があった事など、特殊要因で、減収となり、原燃料価格高騰の影響や08年1月に稼働を開始した炭素繊維生産設備の償却負担増等もあり、減益。
国内	111	98	-13 (-11.7%)	1	1	-0 (-11.7%)	円高の影響を受け、減収。
海外	152	181	+29 (+19.1%)	21	16	-5 (-22.8%)	航空宇宙用途、産業用途が好調に推移するも、原燃料価格高騰の影響に加え、07年8月に稼働を開始した欧州の炭素繊維生産設備の償却負担増等もあり、増収ながら減益。
修正	▲ 231	▲ 206	+25	▲ 3	7	+10	
計	193	197	+4 (+2.0%)	38	33	-4 (-11.8%)	

<主要関係会社>

国内：東レインターナショナル

海外：SOFICAR(フランス)、CFA(アメリカ)、TCA(アメリカ)

本セグメントでは、日米欧3拠点のグローバルオペレーションの規模が大き
く、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

事業セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減	
東レ	20	17	-3 (-16.2%)	0	▲ 5	-5 (-)	RO膜やMBRが欧米・中東を中心に順調に受注を拡大し、家庭用浄水器も好調に推移するも、大型案件の工期遅れや円高の影響等に加え、事業拡大に伴う費用増もあり、減収減益。
国内	309	364	+55 (+17.8%)	14	1	-13 (-94.3%)	建設子会社が堅調に推移。エンジニアリング子会社および水処理エンジニアリング子会社は、前年同期比で工事案件が少なかったことから、減収減益。一方、商事子会社の機械輸出が好調に推移し、国内全体では増収減益。
海外	0	6	+6 (-)	▲ 1	▲ 2	-1 (-)	
修正				▲ 2	▲ 1	+1	
計	329	386	+57 (+17.5%)	11	▲ 7	-18 (-)	

<主要関係会社>

国内： 東レ建設、東レエンジニアリング、東レACE、水道機工 他

事業セグメント別業績(ライフサイエンスその他)



Innovation by Chemistry

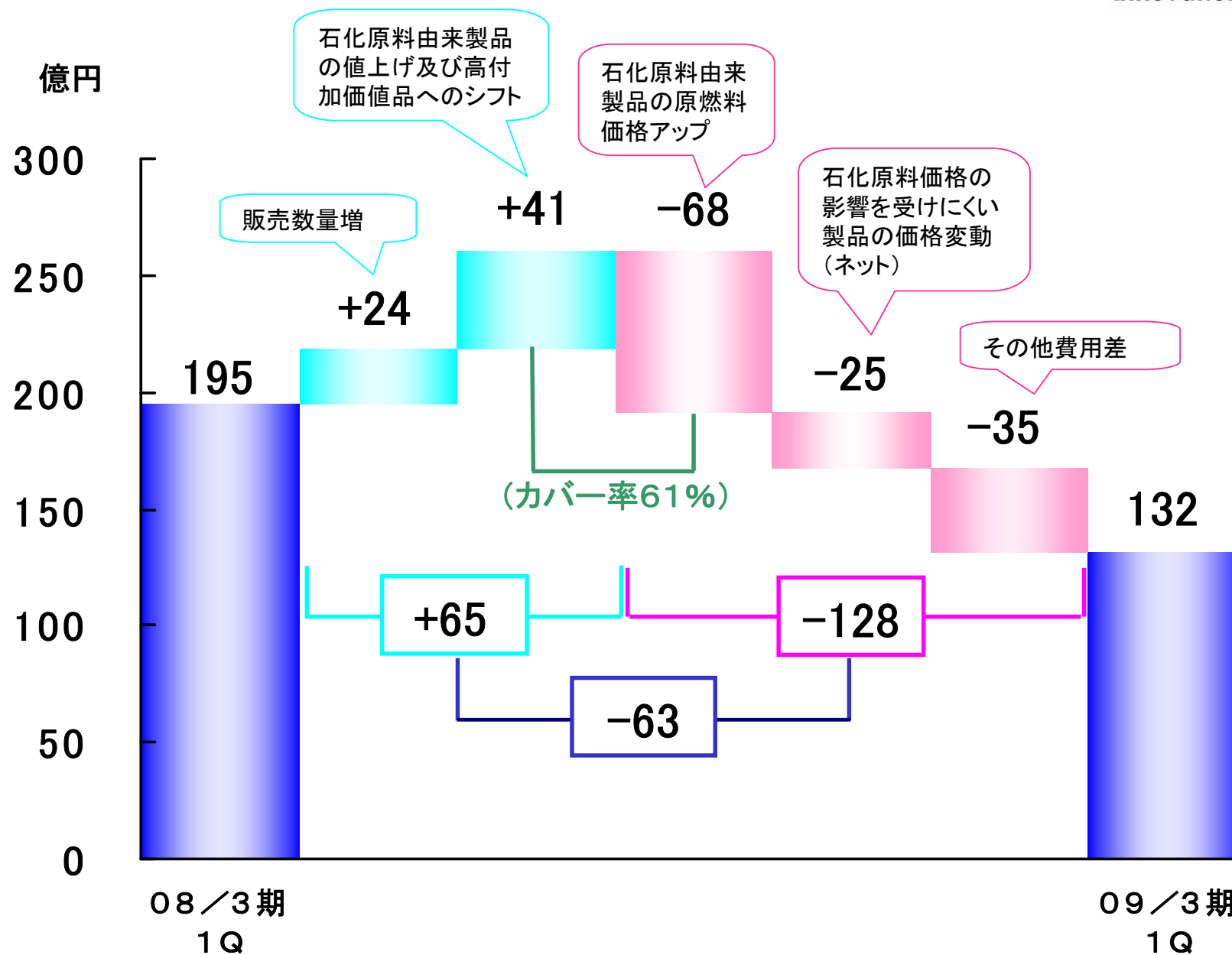
億円

	売上高			営業利益			特記事項
	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減	08年3月期 第1四半期	09年3月期 第1四半期	増減	
東レ	19	16	-3 (-18.0%)	▲ 3	▲ 7	-3 (-)	医薬・医療材 薬価および償還価格の改定による販売価格の下落や競争激化など厳しい市場環境のなかで、人工腎臓が販売量を伸ばし、医薬・医療事業全体では、売上高はほぼ横這いながら販売価格下落の影響が大きく、減益。 その他 分析サービス子会社が医薬分野などの分析事業を中心に好調に推移するなど、総じて堅調に推移。
国内	128	129	+1 (+0.7%)	8	7	-2 (-18.7%)	
海外	4	5	+1 (+17.9%)	0	1	+0 (+44.2%)	
修正				3	0	-3	
計	152	150	-2 (-1.2%)	9	1	-7 (-85.5%)	
(内医薬・医療材)	103	104	+2 (+1.7%)	1	▲ 6	-8 (-)	

<主要関係会社>

国内：東レ・メディカル、東レリサーチセンター、東レエンタープライズ 他

営業利益増減要因分析



Ⅱ. 2009年3月期業績見通し(連結)

連結業績見通し

単位：億円

		08年3月期 実績	09年3月期 期初見通し	09年3月期 今回見通し	対前年比増減		09年3月期 期初見通し との差異
売上高	上期	8,023	7,900	7,900	-123	(-1.5%)	—
	下期	8,473	9,100	9,100	+627	(+7.4%)	—
	通期	16,497	17,000	17,000	+503	(+3.1%)	—
営業利益	上期	440	310	250	-190	(-43.2%)	-60
	下期	594	640	500	-94	(-15.8%)	-140
	通期	1,034	950	750	-284	(-27.5%)	-200
経常利益	上期	419	260	220	-199	(-47.5%)	-40
	下期	496	600	480	-16	(-3.2%)	-120
	通期	915	860	700	-215	(-23.5%)	-160
当期純利益	上期	230	120	70	-160	(-69.6%)	-50
	下期	251	320	230	-21	(-8.3%)	-90
	通期	481	440	300	-181	(-37.6%)	-140

備考： 為替レート的前提は、105円/US\$ (7月以降)
原油価格見通しは、125US\$/B(DUBAI FOB) (7月以降)

事業セグメント別業績見通し(売上高/営業利益) 'TORAY'

Innovation by Chemistry

単位: 億円

		売上高				営業利益				09年3月期 期初見通し との差異	
		08年 3月期	09年 3月期	増減	(%)	08年 3月期	09年 3月期	増減	(%)	売上高	営業利益
繊維	上期	3,209	2,950	-259	(-8.1%)	100	50	-50	(-50.0%)	-100	-20
	下期	3,164	3,250	+86	(+2.7%)	114	70	-44	(-38.4%)	-	-50
	通期	6,373	6,200	-173	(-2.7%)	214	120	-94	(-43.8%)	-100	-70
プラスチック・ケミカル	上期	1,994	2,200	+206	(+10.3%)	90	65	-25	(-27.4%)	+200	-5
	下期	2,046	2,300	+254	(+12.4%)	118	105	-13	(-10.7%)	+150	-15
	通期	4,040	4,500	+460	(+11.4%)	207	170	-37	(-17.9%)	+350	-20
情報通信材料・機器	上期	1,387	1,250	-137	(-9.9%)	128	80	-48	(-37.4%)	-100	-15
	下期	1,450	1,550	+100	(+6.9%)	170	150	-20	(-11.6%)	-100	-30
	通期	2,837	2,800	-37	(-1.3%)	298	230	-68	(-22.7%)	-200	-45
炭素繊維複合材料	上期	399	400	+1	(+0.3%)	82	50	-32	(-38.8%)	-	-20
	下期	437	500	+63	(+14.4%)	99	90	-9	(-9.4%)	-50	-20
	通期	836	900	+64	(+7.7%)	181	140	-41	(-22.6%)	-50	-40
環境・エンジニアリング	上期	711	800	+89	(+12.5%)	25	0	-25	(-100.0%)	+50	-
	下期	1,021	1,150	+129	(+12.6%)	73	70	-3	(-4.1%)	+50	-5
	通期	1,732	1,950	+218	(+12.6%)	98	70	-28	(-28.2%)	+100	-5
ライフサイエンスその他	上期	323	300	-23	(-7.0%)	24	10	-14	(-59.1%)	-50	-10
	下期	355	350	-5	(-1.5%)	39	30	-9	(-22.2%)	-50	-20
	通期	678	650	-28	(-4.1%)	63	40	-23	(-36.5%)	-100	-30
(内医薬・医療材)	上期	224	220	-4	(-1.6%)	8	0	-8	(-100.0%)	-30	-5
	下期	260	260	+0	(+0.0%)	19	20	+1	(+2.9%)	-40	-10
	通期	484	480	-4	(-0.7%)	28	20	-8	(-28.1%)	-70	-15
消去又は全社	上期					▲ 8	▲ 5	+3			+10
	下期					▲ 18	▲ 15	+3			-
	通期					▲ 25	▲ 20	+5			+10
連結	上期	8,023	7,900	-123	(-1.5%)	440	250	-190	(-43.2%)	-	-60
	下期	8,473	9,100	+627	(+7.4%)	594	500	-94	(-15.8%)	-	-140
	通期	16,497	17,000	+503	(+3.1%)	1,034	750	-284	(-27.5%)	-	-200

事業セグメント別営業利益の期初見通しとの差異 **TORAY**

Innovation by Chemistry

単位：億円

事業セグメント	通期営業利益 期初見通し →今回見通し ()内 (差異[億円])	差異理由
繊維	190→120 (-70)	<ul style="list-style-type: none"> 急速かつ想定以上の原燃料価格高騰の影響。価格転嫁及び高付加価値品へのシフトを進めるも当期中にはカバーし切れないと見込む。
プラスチック ・ケミカル	190→170 (-20)	
情報通信材料 ・機器	275→230 (-45)	<ul style="list-style-type: none"> フラットパネルディスプレイ、電子部品向け関連材料の需要が想定を下回る。 原燃料価格高騰によるコストアップ。
炭素繊維 複合材料	180→140 (-40)	<ul style="list-style-type: none"> 原燃料価格高騰によるコストアップ。 景気減速を受け、スポーツ用途の一部で需要の伸びが想定を下回ると見込む。 B787遅延の影響。
環境・エンジニアリング	75→70 (-5)	<ul style="list-style-type: none"> RO膜、MBR等の急速な事業拡大に対応するための費用増加を見込む。
ライフサイエンス その他	70→40 (-30)	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品の競争激化により販売量が想定を下回ると見込む。 期初見通していたロイヤルティー収入減。
消去または全社	▲30→▲20 (+10)	
連結	950→750 (-200)	

本資料中の2009年3月期の業績見
通し及び事業計画についての記述
は、現時点における将来の経済環境
予想等の仮定に基づいています。
本資料において当社の将来の業績
を保証するものではありません。